

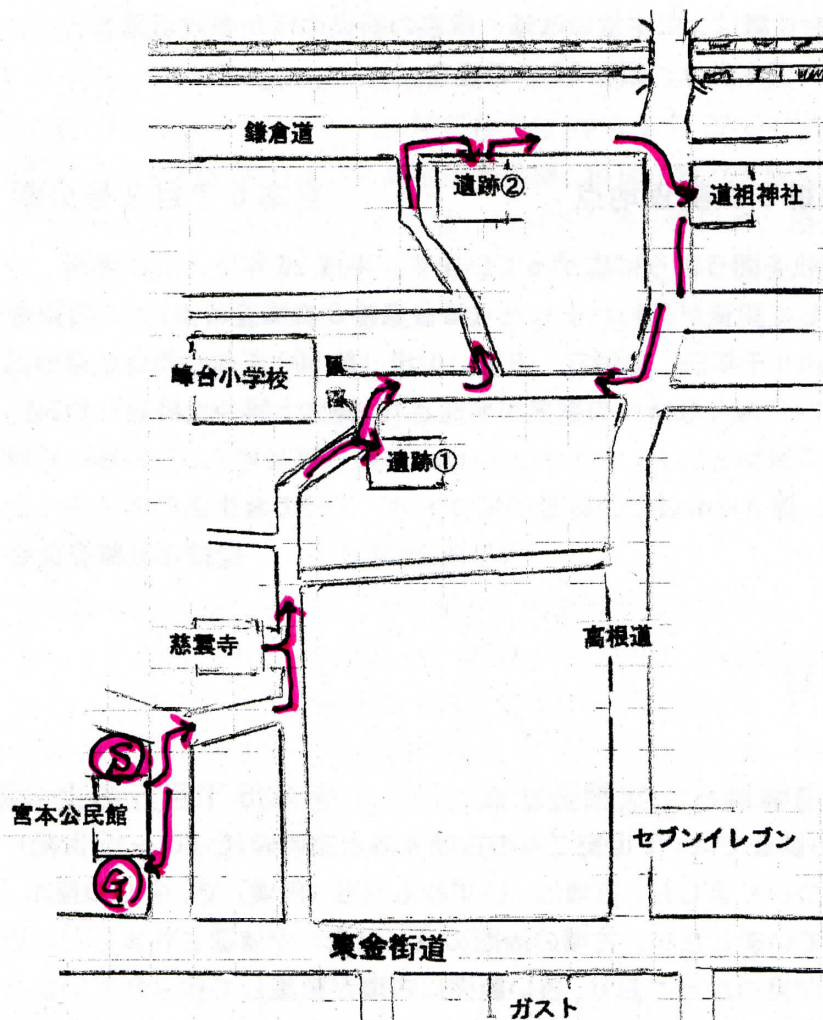
第一部

# 宮本台史跡 探訪

案内： 歴史愛好家 河野成夫

同 川瀬建雄

## <コース 略図>



コース： 宮本公民館(10時出) ⇒ 慈雲寺 ⇒ 遺跡① ⇒ 遺跡②  
～ 鎌倉道/高根道～ ⇒ 道祖神社 ⇒ 宮本公民館(11時着)

## (説明概要)

### 1. 慈雲寺

宮本6丁目

大峰山慈雲寺は、弘安2年(1279)、北条時宗の招請により来朝した宋の僧、無学祖和尚(鎌倉建長寺二世、円覚寺開山)により創建され(当初臨濟宗)、現在の峰台小を含む20数万坪の敷地でした。永禄7年(1564)里見氏との戦い(国府台合戦)の兵火で荒廃しましたが、その後、北条氏政により再興され、曹洞宗に改宗された。葛飾の宝成寺の末寺。寺名は、氏政の戒名「慈雲院」に拠る。

江戸期には、さらに拡大していったが、慶応4年戊辰戦争局地戦(市川・船橋戦争)により、市街地が焼け野原になり、寺は壊滅状態となった。その痕跡として、徳川家臣[綿貫元吉]の墓碑(明治2年造立)がある。

太平洋戦争後、二十一世住職は、旧本堂の改修、庫裏の新築のほか布教活動を行い、寺の再興に尽くしてきた。現本堂は、昭和50年の建立。

### 2. 遺跡① 峰台遺跡3次調査地点

宮本6丁目2号公園

峰台遺跡は峰台小学校を囲うように広がっています。平成26年に、この場所で福祉施設建設に先行して調査が行われました(峰台遺跡3次調査時点)。この調査では、縄文時代早期(約8千年前)の炉穴、古墳、中世(約500年前)の台地整形区画や掘立柱建物跡、井戸など、様々な時代の遺構が発見され、縄文土器や土師器(はじき)、中世陶磁器など各時代の遺物も出土しました。中世の井戸(直径約1m)の跡からは貝殻がびっしり詰まった、厚さ3m以上の貝層が見つかり、当時の食生活の様子をうかがうことができます。

(平成29年3月 船橋市教育委員会)

#### ・遺跡の痕跡 砂岩

### 3. 遺跡② 宮本台遺構群61次調査地点

宮本6丁目丘の上公園

宮本台遺構群61次の調査では、7世紀ごろの古墳4基と室町時代(14~15世紀)の台地整形区画などが見つかりました。古墳は、いずれも円形(円墳)で、中心の盛土(墳丘)はすでになくなっていましたが、古墳の周囲の溝(周溝)が確認されました。近隣する峰台遺跡でも古墳が見つかっており、狭い範囲に古墳が密集して作られていました。室町時代の台地整形区画は、屋敷の跡であり、平坦面を造成しその中に建物などは建てられていました。

(令和3年3月 船橋市教育委員会)

## ・鎌倉道

鎌倉幕府に繋がる道の意。伝承上の呼称。

地元の言い伝えで、鎌倉道といいます。道の先は総武線の工事で土取りされて消滅していますが、跨線橋がその名残といえます。

海岸沿いの房総往還が夏見の入り江を避けてこの辺りから台地を下り、夏見の台地下を通過して海神に至ったのではないのでしょうか。夏見にも鎌倉道の伝承があるようです。鎌倉へ向かう道は鎌倉道と称される事が多く、東中山駅の南の台地上、小室の駒形神社の辺りにも伝承があります。

## ・高根道

享保年間（1716～35）将軍吉宗の高根への鷹狩のため、造成された道。御成道。

宮本から高根を超えて南三咲の仙元宮まで続く道です。

享保9年（1724）、徳川吉宗将軍から小金牧（10年に中野牧、11年に下野牧）で鹿狩りを行うとの指令が出ました。中野牧では10年3月27日に狩りが行われました。

下野牧では翌年の準備として高根道を整備、将軍が狩りを観覧するためのお立場（おたつば）が作られました。「お立場」は今でも残っていて、頂上には仙元宮が祀られています。中野牧のお立場は壊されて、バス停の名前で残っています。

高根道には東町や米ヶ崎、飯山満、中野木さらに遠くからは坪井、古和釜などから来る農家相手の商店がいくつもありました。種苗屋、吠（かます）屋、簗屋、鍛冶屋などです。そして農家の人たちは大抵牛車や馬車で来ますから、それらをつないでおく場所、つまり「立場」（たてば）も2～3軒あったようです。

## 4. 道祖神社

東船橋1丁目

道祖神社は、旅の神・道の神を祀り、悪魔や疫病を追い払いムラ人をまもるために建てられた社である。内部には、寛政4年（1792）の石祠が祀られている。

また、明治30年10月建立の「高根道中」碑がある。

社脇のイチヨウの木は、「船橋の名木10選」の選定木で、幹周り510cmの巨木である。また、社の裏側には、やはり船橋指定樹木のタブの巨木がある。いずれも昭和50年4月指定によるものである。巨木は、幹回り3m以上の基準がある。

第二部

懇談会

（約50分）

於 宮本公民館

～コロナ禍での生活/失ったもの、得たもの～